

トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2017

シンプル
素を極める。
スイスの気鋭 セドリック・ペシヤを迎えて贈る
シリーズ10回目にして初のクリピートしない『ゴルトベルク』

セドリック・ペシヤ

ピアノ・リサイタル

フレスコバルディ／パッサカリアによる100のパーティータ (「トッカータ集 第1巻」より)
ウェーベルン／ピアノのための変奏曲 op.27
ブラームス／創作主題による変奏曲 ニ長調 op.21-1
J.S. バッハ／ゴルトベルク変奏曲 BWV988

全席指定：¥3,000 好評販売中

すみだ区割 (区在住在勤)※

すみだ学割 (区在住在学の小中高生)※

トリオ割 (同時に3枚以上お申込みで5%引)※

※トリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

2017

2.17 (金) 19:00開演 (18:30開場)

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分／すみだ北斎美術館より徒歩10分

 @TriphonyHall  facebook.com/SumidaTriphonyHall

シンプル
素を極める。

セドリック・ベシヤ [ピアノ] Cedric Pescia, piano

ローザンヌに生まれ、フランスとスイスの国籍を持つ。ローザンヌ音楽院でクリスティアン・ファヴルに学んだ後、ジュネーヴ音楽院でドミニク・メルレに師事し、ヴィルトゥオゾジテのクラスで最優秀の成績を修める。ベルリン芸術大学ではクラウス・ヘルヴィッヒに師事。また、ダニエル・バレンボイム、ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウ、ビエール＝ロラン・エマール、アンリ・バルダ、イヴァン・クランスキー、クリスティアン・ツァハリアス、イラン・グロニッチ、アルバン・ベルク弦楽四重奏団からも多くのものを得る。2003年～2006年、イタリアのコモ湖国際ピアノ・アカデミーに参加し、ドミトリー・バシキーロフ、レオン・フライシャー、ウィリアム・グラント・ナボレ、メナヘム・プレスラー、アンドレアス・シュタイアー、フー・ツォンのもとで研鑽を積む。2002年、アメリカのソルトレイクシティで開催されたジーナ・バッカウアー国際ピアノ・コンクールで第1位を獲得。2012年、ジュネーヴ高等音楽院のピアノ科教授に就任。クラヴェス、AEON、ラ・ドルチェ・ヴォルタ、BIS、ジェニユインの各レーベルより、J.S.バッハ、クーブラン、ベートーヴェン、シューベルト、シューマン、ドビュッシー、プゾーニ、エネスコ、メシアン、ケージ、スクリン、グバイドゥーリナの作品を収録したCDをリリースしている。今回が初来日。



CD情報

セドリック・ベシヤ「ゴルトベルク変奏曲」

- CD50-5407 / Claves
- 録音：2004年
- オープン価格

音楽の流れと円環の収束に一石を投じる“サクサク”なバッハ —— オヤマダアツシ(音楽ライター)

風の中の羽根のように……とはおなじみヴェルディによる「女心の歌」の一節だが、そうした印象を受ける「ゴルトベルク変奏曲」を聴くことになろうとは、実に不思議な体験である。スイスの名レーベルである「クラヴェス(Claves)」からリリースされているこの演奏は、シリアスな気分で対面したくなるこちらの気持ちを見透かしたように、冒頭の「アリア」から微笑みを浮かべ、聴いていると変化する曲調に合わせてステップを踏みたくなるほどだった。

その弾き手であるセドリック・ベシヤ(Cedric Pescia)は、生まれ故郷であるスイスのローザンヌを中心に、世界各地で演奏活動を行ってきたピアニストだ。「ゴルトベルク変奏曲」はこれまでに多くのピアニストたちが演奏し、もちろんチェンバリストたちもしのぎを削っている。それゆえ演奏者たちも「弾くからには個性という名の爪跡を残さなければいけない」という、ある種の決意を漂わせているし、聴き手も(この曲が好きであるほど)「手ぐすねを引いて待っている」といった切迫感を漂わせていることさえある。

しかしベシヤが演奏する「ゴルトベルク変奏曲」には、そうした空気が感じられない。というより、本来は深夜の密かな楽しみだったこの音楽を太陽光のもとへと誘い、純真な子供たちが無邪気に遊ぶ公園で演奏してみたような印象さえ受ける。幸福な戸惑いを感じつつ音楽を聴きながら、コロコロと転がるような装飾音にハッと驚き、一瞬ではあるがフランソワ・クーブランの小粋なクラヴサン音楽を思い出してしまふような感覚。それだけでも、新鮮なものを初めて聴いてしまったような気にさえなってくる。

ところでベシヤが弾く「ゴルトベルク変奏曲」のCDだが、トータルの収録(演奏)時間がおよそ41分30秒。1時間以上も費やしている演奏が多い中、これはなか

なかの短さである。ちなみに有名なグレン・グールドが演奏する録音(1955年)は、およそ38分30秒。2つの演奏を並べたり比べたりすることにほとんど意味はないはずだが、それでもグールドにシンパシーを抱いている聴き手は、音楽の軽やかさとテンポ感に「おっ?」と反応してくれるだろう。

今風に表現するなら「サクサク進む」と評したくなるベシヤの演奏だが、秘密のひとつは「リピート(繰り返し)の排除」だ。これについてベシヤは、各曲の和声的な流れを自然にするためのアイデアだと語る。つまり「アリア」の前半部は、ベースラインが主音であるGの音で始まり、落ち着く先は第5音(D)。そして続く後半部は第5音(D)で始まり、最後は主音(G)へ帰結。そして続く第1変奏はまた主音(G)から……。つまりはその円環の中で物語は進み続けるのであり、リピートが生み出す流れのよどみを断ち切りたいという思いがあるらしい。

さらには第1～第30変奏の演奏時間が短くなることで、聴衆は冒頭の「アリア」から受けた印象を忘れず、扉を閉める役割を担った最後の「アリア」を聴きながら走馬燈を見るように30の変奏を回想し、円環の閉じる感動的な瞬間を体験できるという。

……と、それは「ゴルトベルク変奏曲」という類い希な迷宮庭園の魅力を知る人のための講釈かもしれない。初めてこの作品に接する聴き手にとって、およそ40分という演奏は爽快な風のようなものかもしれない、それは各変奏のキャラクターを理解・比較することに役立つだろう。これに先立つコンサート前半には、3人の作曲家が仕掛けた変奏の迷宮を解き明かす35分間が用意されている。

すみだトリフォニーホールの名物企画、さまざまな演奏者による「ゴルトベルク変奏曲」コンサートも、記念すべき10回目となる。

全席指定：¥3,000 好評販売中

すみだ区割(区在住在勤)※

すみだ学割(区在住在学の小中高生)※

トリオ割(同時に3枚以上お申込みで5%引)※

※トリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

■ チケット取扱い

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831

チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp/ [Pコード:311-771]

ローソンチケット 0570-000-407 l-tike.com/ [Lコード:32673]

イープラス eplus.jp/

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催：すみだトリフォニーホール

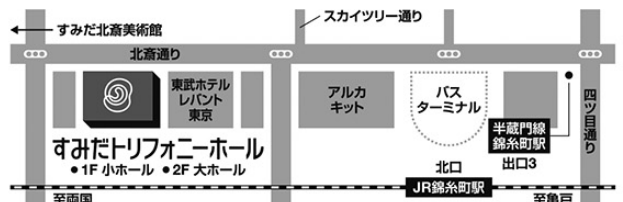
招聘制作：パシフィック・コンサート・マネジメント

平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/すみだ北斎美術館より徒歩10分